

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期美里町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県児玉郡美里町

3 地域再生計画の区域

埼玉県児玉郡美里町の全域

4 地域再生計画の目標

昭和55年以降の国勢調査の推移を見ると、緩やかに増加していた本町の人口は平成7年（1995）の12,197人をピークに減少に転じており、特に近年では人口減少率の落ち込みが大きくなっている。住民基本台帳によると、令和8年4月時点では、10,541人となっており、国立社会保障・人口問題研究所によると、令和17年（2035）には1万人を割り込み、令和32年（2050）は約8,500人となることが予想されている。

年齢3区分別の人口構成の推移を見ると、年少人口（0～14歳）は昭和60年（1985）の2,477人をピークに減少し、令和7年（2025）には1,062人となる一方、老年人口（65歳以上）は昭和55年（1980）の1,388人から令和7年（2025）には3,889人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も平成7年（1995）の7,944人をピークに減少傾向にあり、令和7年（2025）には5,731人となっている。生産年齢人口（15～64歳）の減少が顕著であることから、若年世代の定住促進を中心とした人口減少抑制に向けた総合的な取組が求められる。国立社会保障・人口問題研究所によると、老年人口（65歳以上）は令和25年（2043）をピークに減少すると推計されているが、人口全体の減少率の方が高いため、高齢化率は一貫して上昇すると推計されている。

出生数、死亡数の推移を見ると、出生数は平成20年（2008）の81人をピークに

減少傾向であり、令和 5 年（2023）には 48 人となっている。その一方で、死亡数は令和 5 年（2023）には 208 人と増加傾向であり、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲160 人（自然減）となっている。自然動態（出生数－死亡数）は、平成 20 年（2008）から令和 5 年（2023）にかけて 80～180 人の間で減少している一方で、合計特殊出生率は令和 5 年（2023）には 1.12 と、国（1.2）・埼玉県（1.14）よりも低い数値となっている。本町においては自然増減による人口への影響が高いことから、安心して子どもを生み育てられる環境の質の向上により、合計特殊出生率の向上が求められている。

本町の社会増減は平成 29 年（2017）以降、転入数が転出数を上回る「社会増」の傾向となっている。令和 5 年（2023）には転入者（387 人）が転出者（316 人）を上回る社会増（71 人）となっている一方で、社会移動を年齢 3 区分別に見ると、生産年齢人口（15～64 歳）は平成 24 年（2012）より一貫して減少しており、老年人口（65 歳以上）の純移動数が増加傾向にある。転入・転出先の 6 割以上が埼玉県内の自治体であり、特に近隣市町からの移動が多い状況にあることから、本町においては特に若年世代をターゲットとした、近隣市町からの転入促進とともに、若年世代が町外へ出ていかない（転出抑制）環境づくりが求められている。

社会増となっているものの、今後は人口減少や少子高齢化が進むことで地域経済の衰退、地域活力の低下、地域コミュニティの希薄化の進行などが懸念される。これらの課題に対応するため、雇用の創出や交流人口・関係人口の増加、結婚・出産・子育ての支援、安全安心で魅力的なまちづくりの推進等に取り組み、人口減少に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、国の示す基本目標及び本町が目指すべき将来の方向性を踏まえ、基本目標の枠組みを以下のとおり設定する。

- ・基本目標 1 安定した雇用と経済を確立する
- ・基本目標 2 美里町への新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 子どもを産み育てやすい環境をつくる
- ・基本目標 4 地域資源を活かした魅力をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	農業産出額（千万円） 【単年】	135	140	基本目標 1
	農地集積率（％）	28	30	
	遊休農地の面積（ha）	33	33	
	町内外における美里 町産農産物の PR 活動 回数（回）	3	4	
	畜産における農業産 出額（万円）	240	240	
	町内の森林面積（ha）	759	759	
	町内の鳥獣害捕獲件 数（件）	552	552	
	認定農業者数（人）【累 計】	69	69	
	農業生産法人数（組織 数）	7	9	
	新規就農者数（人/年） 【R7 からの累計】	0	4	
	町内事業所就業者数 （人）	6, 229	6, 500	
	新規に誘致した企業 数（社）【4 年間の合 計】	2	4	
	企業説明会・就職相談	2	3	

	会の実施回数（回）			
	町内事業所数（件）	431	440	
	起業支援事業補助金 活用件数（件）【R7 からの累計】	9	17	
イ	観光入込客数（万人）	27.8	30	基本目標 2
	普及啓発イベント等の実施回数（回）	0	1	
	観光交流プログラムの企画・運営に関わる活動主体（件）	0	20	
	観光協会公式 SNS フォロワー数（人）	1,950	2,500	
	「町に愛着がある」と思う人の割合（％）	71.3	90.0	
	町ホームページ上位 20 ページの年間アクセス数計（件）	289,285	350,000	
	美里町公式 LINE アカウント登録者数（人）	2,317	5,000	
	「今後も町に住み続けたい」と思う人の割合（％）	71.1	80	
	新幹線通学・通勤定期券購入補助金交付申請者数（人）	18	30	
	多世代間の交流イベントの参加人数（人/年）	168	250	

	まちづくり事業に関 わる者の数（人）	305	600	
	地域運営組織の設立 数（件）	0	1	
	協働に参加する民間 事業者の数（件）	6	10	
	関係人口・交流イベン トの参加人数（人/年）	0	30	
ウ	年少人口（人）	1,105	1,000	基本目標 3
	出生数（人）	55	55	
	乳幼児健診受診率 （%）	80.5	95.0	
	産後ケア事業利用者 数（人）	10	15	
	子育て支援が充実し ていると思う人の割 合（%）	6.4	10.0	
	子育て支援関係（面 接）相談件数（件）	278	350	
	ファミリーサポート センターの会員数 （人）	15	20	
	どれみ広場の参加者 数（人）	10	12	
	児童虐待新規相談件 数（件）	9	7	
	学校評価における保 護者の教育満足度 （%）	93.6	98	

	全国学力・学習状況調査アンケートにおける「授業がわかりやすい」と回答する児童生徒の割合（％）	81.3	90.0	
	教職員の月平均時間外在校時間（時間）	20.6	10	
	全国学力・学習状況調査結果における県平均との差（点）	小学校国語 -0.4 小学校算数 -1.0 中学校国語 +1.0 中学校数学 -1.0	県平均以上	
	中学卒業時の英検 3 級取得率（％）	46.0	50.0	
	統合小学校の整備件数（件）	0	1	
エ	中心拠点地区における開発面積（ha）	0	2	基本目標 4
	開発予定地の確保率（％）	0	100	
	空間づくりの立案件数	0	3	
	自然環境が良く住みたい割合（％）	55.5	58	
	町内の森林面積（ha）	759	759	
	荒廃農地の面積（ha）	33	33	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期美里町まち・ひと・しごと創生推進

ア 安定した雇用と経済を確立する事業

イ 美里町への新しいひとの流れをつくる事業

ウ 子どもを産み育てやすい環境をつくる事業

エ 地域資源を活かした魅力をつくる事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用と経済を確立する事業

農業の振興に向け、農業後継者や地域農業の中心となる認定農業者の育成とともに、新規就農者の発掘・育成を図り、人材の確保に努める。更に、都市住民や来訪者、子どもたちが、農業に興味を持ち、農業を楽しめる仕組みをつくり、農産物のブランド化へ向け総合的に取り組む。

安定した雇用の創出・維持に向けた支援のほか、企業定着のための支援や更なる企業誘致支援策を実施します。多様な就労と企業支援に向けて、就労相談等、第2期総合戦略の取組を継続するとともに、誰もが新たな事業にチャレンジすることができ、時代の変化に対応した多様な働き方ができる環境を整備する。

【具体的な事業】

- ・農林業の振興
- ・農林業人材の育成・確保
- ・企業の発展と雇用の創出
- ・起業支援 等

イ 美里町への新しいひとの流れをつくる事業

観光資源やイベント情報、本町での暮らし等を様々な媒体を活用し、町内外にまちの魅力を発信し、来訪のきっかけ、更には交流人口の増加を図る。UI ターンの促進に向けた居住地の確保や転入者への各種支援を行い、定住人口の維持・増加を目指す。

また、町民だけでなく、様々な形でまちと関わる「関係人口」が地域活動に参画できる環境を整え、魅力あるまちの担い手づくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・地域資源を活用した観光振興
- ・まちの魅力発信の強化
- ・定住促進に向けた支援の整備
- ・だれもが活躍できるコミュニティづくり 等

ウ 子どもを産み育てやすい環境をつくる事業

妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援により、子育て世帯が安心して暮らせるまちづくりを推進し、合計特殊出生率の向上を目指す。

また、まちの財産である子どもが、進学や就職で一度鳥害へ出た後においても、まちへ帰ってきたくなくなるような郷土愛を育む学びの場づくりに取り組む。

【具体的な事業】

- ・妊娠、出産サポートの充実
- ・子育て環境の充実
- ・質の高い学校教育の推進と発信 等

エ 地域資源を活かした魅力をつくる事業

快適で暮らしやすく、自然と調和した土地利用を図るため、都市計画マスタープラン等の推進により、それぞれの地域の特性を活かした秩序ある良好な土地利用とコンパクト・プラス・ネットワークによる持続可能なまちづくりを推進する。

また、農地や里山等の景観づくりに取り組み、美里町が誇る自然環境を維持し、町民が心身ともに美しく暮らせる施策の充実を図り、本町の特産品となる農産物の付加価値を高める栽培方法の実践や商品開発を推

進する。

【具体的な事業】

- ・ 地域資源を活かした拠点整備
- ・ 自然環境、景観の保全 等

※なお、詳細は第3期美里町地方創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,200,000 千円（2026年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに同町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで